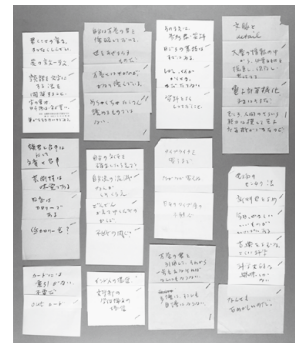


重要なお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、本館関連の催し物について、本コーナーに掲載の情報も含め、急遽、予定を変更する可能性がございます。詳細につきましては、決まり次第本館ホームページに掲載いたします。何卒ご理解のほど、お願い申し上げます。



「知的生産の技術」のための「こざね」
(撮影：尼川匡志)

梅棹忠夫生誕100年記念企画展
「知的生産のフロンティア」
みんなく初代館長を務めた梅棹忠夫が残したアーカイブス資料とデジタルデータベースをとおして、フィールドワークから著作への「知的生産」をくわしく紹介します。
会期 12月1日(火)まで
会場 本館企画展示場

時	万博記念公園駅	国立民族学博物館	
10	06	36	
11	06	36	
12		46	
13	16	46	
14	26	56	
15		26	56
16			
17			
時	国立民族学博物館	万博記念公園駅	
10		50	
11	20		
12	30		
13	00	30	
14	10	40	
15	10	40	
16	30		
17	00		

特別展 「先住民の宝」

世界には、「先住民」と呼ばれる人たちがいます。先住民とはだれか? 「宝」にこめられた思いとは何なのか? 本展覧会では、日本のアイヌをはじめ、北歐、カナダ、オーストラリア、中南米、アフリカ、台湾、ネパール、マレーシアなど、世界各地に暮らすそれぞれの「先住民」が大切にしている「宝」を展示します。



仮面 (マレーシア、オラン・アスリ)

会期 12月15日(火)まで
会場 特別展示場

ミンパク オッタカムイノミ (みんなくでのカムイノミ)
例年11月頃、本館に所蔵されているアイヌの標本資料への感謝と安全を願い、北海道アイヌ協会の協力をえて、実施しておりますカムイノミですが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、非公開とします。

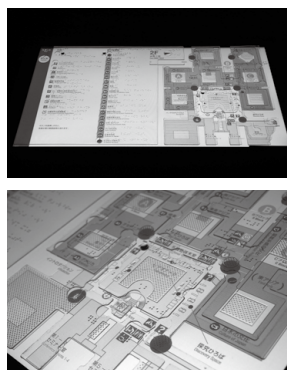
みんなく無料シャトルバスのご案内
大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくの間の直通送迎バスを特別展「先住民の宝」の会期中に運行します。
運行日 12月15日(火)までの土曜・日曜・祝日
1日11往復、所要時間10分、無料
平日、11月1日(日)、3日(火・祝)、7日(土)、8日(日)
※急遽予定を変更する場合があります。
※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため

共催展

「佐々木高明の見た焼畑 五木村から世界へ」

佐々木高明(元民博館長)が撮影した熊本県の五木村での焼畑に関する写真を中心に、民具などの資料を含めて当時の村の暮らしを紹介いたします。

会期 11月29日(日)まで
会場 五木村歴史文化交流館「ヒストリアテラス五木谷」
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
主催 国立民族学博物館 五木村



展示場に設置されているデジタル触地図

デジタル触地図(国立民族学博物館触知案内板)が2020年度グッドデザイン賞を受賞
本館のデジタル触地図(国立民族学博物館触知案内板)が、2020年度グッドデザイン賞(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。
デジタル触地図は、視覚に障がいのある人となない人が、分け隔てなく館内情報にアクセスできるインタラクティブな触地図システムです。すでに本館の展示場に2台設置され活用されており、今後も設置を増やす計画をしております。さらに標準デザイン化を目的として特許を取得し、他の博物館への公開と普及も目指しております。

みんなくセミナール

会場 本館講堂

※要事前申込先着順/定員各回160名、参加無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)
※事前予約の方は入場整理券を当日11時から本館2階講堂前にて配付します。

第504回 11月21日(土)13時30分～15時(13時開場)
ミュージアムが社会を変える——水俣の遺産
講師 平井京之介(本館 教授)

第505回 12月19日(土)13時30分～15時(13時開場)
民博研究の政策としての応用
——トランスフォーメティブ研究の始め
講師 出口正之(本館 教授)

民博の展示品を見て皆さんは何を感じますか? もし、従来の「常識」が覆されたなら、それがすべての「研究」の始まりです。民博の研究が税制、NPO政策、大阪の活性化政策などに活かされています。「常識の残像」から脱するために民博がいかに役立っているかをお話しします。

【申込期間】

■友の会(維持会会員・正会員)電話先行受付
期間：11月16日(月)～20日(金)

■一般受付

期間：11月24日(火)～12月17日(木)
【申し込みの申込方法】
本人を含む2名まで。定員になり次第受付終了します。右記の該当期間中にお申し込みください。

■友の会(維持会会員・正会員)電話先行受付(定員30名)
【申込先千里文化財団友の会事務局】
電話 06-6877-8893
(9時～17時、土日祝を除く)

■一般受付

・オンライン予約(定員100名)
みんなくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。

・当日参加申込(定員30名)
11時から本館2階講堂前にて受け付けます。

みんなくウィークエンド・サロン
研究者と話をしよう

会場 第5セミナー室

※申込不要(当日先着順/定員各日42名、参加無料)要
展示観覧券

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」「調査している地域/国の最新情報」「みんなくへの展示資料」について分かりやすくお話しします。

11月1日(日)14時30分～15時(14時開場)
100年前のアイヌのくらしと現代の文化
話者 齋藤玲子(本館 准教授)

11月8日(日)14時30分～15時15分(14時開場)
サーミの工芸品
話者 庄司博史(本館 名誉教授)

11月29日(日)14時30分～15時(14時開場)
アフリカの先住民について
話者 池谷和信(本館 教授)

刊行物紹介

■川瀬慈 著
『エチオピア高原の吟遊詩人——うたに生きる者たち』
音楽之友社 3,000円(税別)



エチオピアの吟遊詩人、アズマリ、ラリベラが、地域社会において人びととの豊かなやりとりに基づいて展開させる芸能の様子を描き、アフリカの地平から音楽・芸能を相対化してとらえ、考えることを促す。アフリカの吟遊詩人のリアルな息吹が感じられる1冊。

友の会

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716
https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/ E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会

【聴講方法】

①本館講堂にて聴講(定員160名)
友の会会員は予約不要(当日会員証提示)
一般は500円(受付フォームより要事前申込)
②オンライン中継での聴講(友の会会員のみ/受付フォームより要事前申込)
※受付フォームは友の会ホームページ内にあります。

第506回 11月14日(土)13時30分～14時40分
祝術として生き残った仏教
——社会主義期モンゴルにおける世俗化・仏教実践・還俗ドラマ
講師 島村一平(本館 准教授)

ソ連を中心とした旧社会主義国では、無神論が標榜され宗教が抑圧されていたことは知られています。しかし社会主義期、宗教は無くなっていったのでしょうか。この講演では、かつて社会主義国だったモンゴル国を事例に、社会主義による世俗化は、実は「呪術化」だったのではないかと、という逆説を提示します。モンゴルは、人口の6割ほどがチベット・モンゴル仏教を信じている「仏教国」です。本講演では、モンゴル仏教の現在から過去を見ていきます。

受付フォーム
https://www.senri-f.or.jp/506tomo/

第507回 12月5日(土)13時30分～14時40分
海洋考古学の世界
——沖繩の水中文化遺産とその魅力

講師 小野林太郎(本館 准教授)
海洋考古学は、海と人類の歴史を探索する学問です。そのフィールドは、海中の遺跡だけでなく、島や沿岸域に残されたさまざまな遺跡が対象となります。この講演では、そのなかでもとくに水中文化遺産を取り上げ、これまで研究してきた沖繩県石垣島の海底遺跡を事例に、その魅力や水中遺跡の保護の現状について紹介いたします。あわせて、水中文化遺産をめぐる世界的な動きや今後の課題についても解説します。

受付フォーム
https://www.senri-f.or.jp/507tomo/

